



米海兵隊太平洋基地 - キャンプ・バトラー

基地司令官環境方針

米海兵隊太平洋基地の任務において、自然環境は重要な財産です。米海兵隊太平洋基地の環境方針は、環境関連法規の順守、自然環境の効率的な管理、及び地域社会の関心を海兵隊の任務遂行に統合していくことにより、任務の達成を支援していくことを目的としています。そして、以下のような方針を実行することにより、海兵隊施設内の土地、水、大気、文化財等の資源を保護及び保全していくことに責務をもって常に努めることを基本理念としています。

- 環境管理基準（日本国内ではJEGSが該当）、及び該当する法律、規則、方針を順守します。
- 排出抑制とリサイクルを通じて、汚染防止を実行します。
- 自然環境の保全と文化財の保護に努めます。
- 持続可能性を実現するための取り組みを実施します。
- 連邦政府の活動から派生すると考えられる環境負荷に対し、適切な検討を行います。

作戦即応能力は海兵隊の真髄であり、任務への即応力や訓練環境の維持・向上を図るために環境関連法規を順守していくことは重要です。米海兵隊太平洋基地は、責務を果たすと同時に、効果的且つ効率的な環境マネジメントシステム（EMS）を通じて環境負荷の軽減に取り組むことを約束します。

Semper Fidelis

STEPHEN E. LISZEWSKI
MAJOR GENERAL, U.S. MARINE CORPS
COMMANDING GENERAL, MARINE CORPS INSTALLATIONS PACIFIC-
MARINE CORPS BASE CAMP BUTLER